TWISTED PAIR TRANSMITTER

KE 0202CT2

取扱説明書

お買い上げいただき誠にありがとうございます。

製品をご使用される前に必ずお読みください。

ご使用上の注意

ご使用前に、必ずこの「取扱説明書」をお読みください。
お読みになった後は、必ず装置の近くの見やすいところに大切に保管してください。

警 告

・この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注 意

・この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

● 注意 (警告を含む)が必要なことを示す記号

一般的注意

手がはさまれる

● 必ずしてほしい行為（強制、指示行為）を示す記号

一般的指示

プラグをコンセントから抜く

● してはいけない行為（禁止行為）を示す記号

禁止

水ぬれ禁止

水場での使用禁止

分解禁止

接触禁止

ぬれ手禁止

● 万一、製品の不具合や停電などの外的要因で、映像や音声の品質に障害を与えた場合でも、本製品の修理以外の責はご容赦願います。

⚠警 告

◆万一、次のような異常が発生したときは、そのまま使用しない

※火災や感電の原因になります。
- 煙が出ている、変なにおいがするなどの異常のとき。
- 内部に水や物が入ってしまったとき。
- 落としたり、キャビネットが破損したとき。
- 電源コードが傷んだとき(芯線の露出、断線など)。

■このようなときはすぐに電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いたあと、本製品を設置した業者又は当社に修理を依頼してください。

■お客様ご自身が修理することは危険です。絶対にやめてください。

◆不安定な場所に置かない

※ぐらついた台の上や傾いた所には置かないでください。
落ちたり、倒れたりしてけがの原因となります。

◆表示された電源電圧(交流１００V)以外で使用しない

※火災や感電の原因となります。

◆内部に物を入れない

※通風孔などから金属類や燃えやすいものなどが入ると、火災や感電の原因となります。

◆ぬらさない

※火災や感電の原因となります。

◆雷が鳴り出したら、電源プラグをコンセントから抜く

※感電の原因となります。

◆電源プラグは、すぐ抜ける場所にあるコンセントに差し込む

※本製品に異常が発生したときは、電源プラグをコンセントからすぐ抜いてください。

◆本製品のカバー、キャビネットは外したり、改造しない

※内部には電圧の高い部分があり、火災や感電の原因となります。
内部の点検・修理の際は当社にご連絡ください。

◆電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む

※ショートや発熱により、火災や感電の原因となります。
また、たこ足配線はしないでください。

◆電源コードを傷つけない

※電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。
- 電源コードを加工しない。
- 無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしない。
- 電源コードの上に機器本体や重いものをのせない。
- 電源コードを熱器具に近づけない。

⚠注 意

◆次のような場所には置かない

※火災や感電の原因となることがあります。
- ・湿気やほこりの多いところ。
- ・油煙や湯気の当たるところ。
- ・熱器具の近くなど。
- ・窓ぎわなど水滴の発生しやすいところ。

◆他の機器と接続するときは、接続する機器の電源を切り、それぞれの取扱説明書に従う

※指定以外のコードを使用したり、延長したりすると発熱し、火災、やけどの原因となることがあります。

◆通風孔をふさがない

※通風孔をふさぐと内部の熱が逃げないので、火災の原因となることがあります。
- ・横倒し、逆さま（あおむけ）にしない。

※通風孔をふさいだり、すき間から異物を差し込まないでください。故障の原因となることがあります。

◆移動するときは、電源プラグや接続コード類をはずす

※ 接続したまま移動するとコードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。

◆本製品の上に重い物を置かない

※重い物や本体からはみ出るような大きな物を置くと、バランスがくずれて倒れたり、落ちたりしてけがの原因となることがあります。

◆長時間使用しないときは電源プラグを抜く

※電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、安全及び節電のため電源プラグを抜いてください。

◆お手入れをするときは電源プラグを抜く

※電源が「切」でも機器に電気が流れていますので、感電の原因となることがあります。

◆電源プラグはコードの部分を持って抜かない

※電源コードを引っ張るとコードに傷がつき、火災・感電の原因となることがあります。プラグの部分を持って抜いてください。

◆ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

※感電の原因となることがあります。

目 次

1.本製品について ---- 1

1-1.本製品および付属品について ---- 1

1-2.製品概要 ---- 2

2.各部の名称と機能 ---- 3

2-1.本製品の前面パネル ---- 3

2-2.本製品の背面パネル ---- 3

3.接続 ---- 5

3-1.接続にあたっての注意・警告事項 ---- 5

3-2.ケーブルの準備 ---- 6

3-3.ケーブル固定金具 ---- 7

3-4.接続方法 ---- 8

3-5.RS-232C用ケーブル結線 ---- 10

4.操作 ---- 11

4-1.底面ディップスイッチの設定 ---- 11

4-2.入力映像の選択 ---- 11

4-3.MODE設定スイッチ ---- 13

5.本体の固定 ---- 14

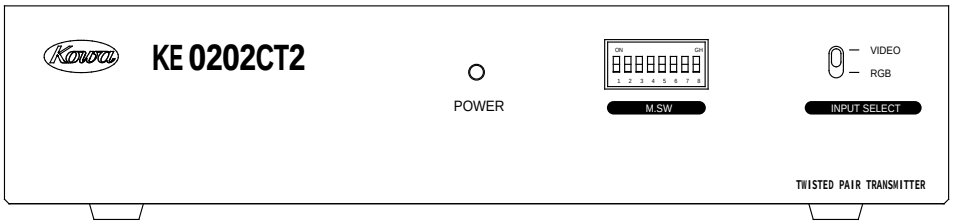
6.主な仕様 ---- 16

7.トラブルシューティング ---- 17

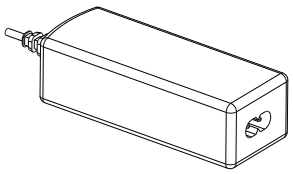
1．本製品について

1-1.本製品および付属品について

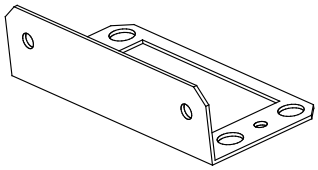
本製品および付属品が入っていることをご確認ください。



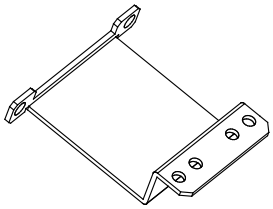
KE 0202CT2本体



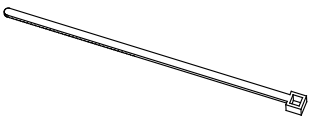
ACアダプタ



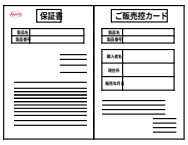
本体固定金具（２個)



ケーブル固定金具

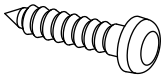


結束バンド（２本）

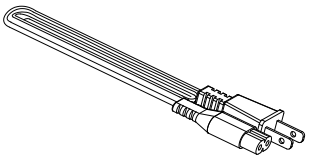


保証書

取扱説明書（本冊子）



木ねじ（4個）



電源コード

1-2.製品概要

本製品は、伝送ケーブルとして汎用的に使用されているツイストペアケーブル（CAT5e規格もしくはCAT6規格）を用いて、コンピュータやハイビジョンの広帯域映像信号1系統、または、コンポジット信号最大3系統を延長出力するための送信器（以下ツイストペア送信器）です。

また、映像信号以外にステレオ音声1系統とRS-232C 1系統（ツイストペア送信器→ツイストペア受信器の一方通行の送信のみ）も延長出力できます。

受信側は当社のツイストペア受信器になります。

本製品の利用できる最小ツイストペアケーブル長は10mです。また、最大ツイストペアケーブル長は出力されるリフレッシュレートや解像度によって異なります。使用可能なツイストペアケーブル長範囲は、おおよそ以下のとおりです。

（当社推奨ツイストペアケーブルをご使用の場合）

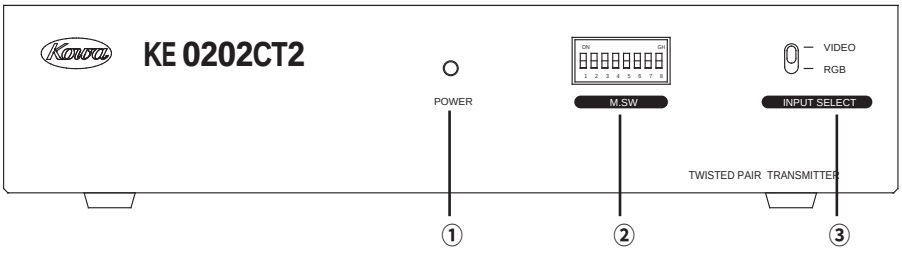
信号名		ケーブル長
RGB	WUXGA（1920×1200）	10～100m
	UXGA（1600×1200）	
	SXGA（1280×1024）	10～120m
	XGA（1024×768）	10～150m
	SVGA（800×600）	10～180m
	VGA（640×480）	10～200m
コンポーネント	1125（1080）／60p	10～100m
	1125（1080）／50p	
	750（720）／60p	10～150m
	750（720）／50p	
	1125（1080）／60i	
	1125（1080）／50i	
	1125（1080）／24p	
	525p（480p）	10～200m
	625p（576p）	
	525i（480i）	10～300m
	625i（576i）	
コンポジット		10～300m
音声信号（2chアンバランス）		
制御信号（RS232C）※		

※制御信号は片方向通信です。

推奨ツイストペアケーブル：岡野電線 OKIP-E5-P-AWG24×4P

2． 各部の名称と機能

2-1．本製品の前面パネル

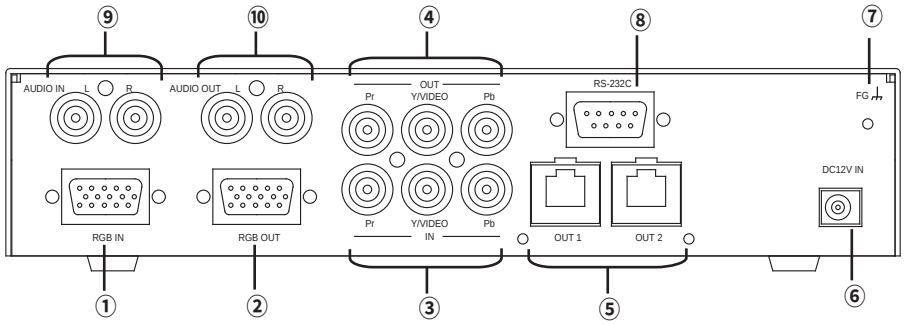


① POWER
電源アダプタを接続すると本体の電源が入り、POWERランプが緑色に点灯します。

② M.SW
ディップスイッチNo.8にて、コンポジットとコンポーネントの切り換えを行います。

③ INPUT SELECT
OUT1,OUT2コネクタに出力する映像を、VIDEOかRGBかを選択するスイッチです。

2-2．本製品の背面パネル



① RGB IN
高密度DSUB15ピン　映像入力コネクタ
RGB信号の入力コネクタです。（GonSYNCには対応しておりません）
※ ケーブルは3m以下のものをご使用ください。

② RGB OUT
高密度DSUB15ピン　映像出力コネクタ　モニタアウト用
RGB INコネクタから入力した信号をモニタアウトできます。
（本体正面の入力切替スイッチ（DIPスイッチ、トグルスイッチ）の設定に関わらずRGB INに入力した信号が出力されます。ただし、バッファ出力ですので、ツイストペア送信器の電源が入っていないと出力されません。）
※ ケーブルは3m以下のものをご使用ください。

③ Pr IN, Y/VIDEO IN, Pb IN
RCAピンジャック　映像入力コネクタ
コンポーネント又はコンポジット信号の入力コネクタです。
コンポジット信号の場合はVIDEO INコネクタに入力します。
※ ケーブルは3m以下のものをご使用ください。

④ Pr OUT, Y/VIDEO OUT, Pb OUT
RCAピンジャック　映像出力コネクタ　モニタアウト用
(Pr,Y/VIDEO,Pb) INコネクタから入力した信号をモニタアウトできます。
(本体正面の入力切替スイッチ（DIPスイッチ、トグルスイッチ）の設定に関わらず
(Pr,Y/VIDEO,Pb) INに入力した信号が出力されます。ただし、バッファ出力ですので、
ツイストペア送信器の電源が入っていないと出力されません。）
※ ケーブルは3m以下のものをご使用ください。

⑤ OUT1,OUT2
RJ-45コネクタ　ツイストペア延長用コネクタ
このコネクタにCAT5eあるいはCAT6ケーブルを接続し、ツイストペア受信器と接続します。
2分配出力です。

◆警告
・対応するツイストペア受信器以外は接続しないでください。発火、破損のおそれがあります。

⑥ DC12V IN
DC12V専用電源アダプタを接続します。

⑦ FG ⏚
フレームグラウンド
屋内のアース端子と接続するために使用します。

⑧ RS-232C
RS-232Cによるシリアル通信（送信のみ）ができます。
コネクタはD-SUB９ピン(オス)です。
("3-5. RS-232C用ケーブル結線"を参照してください。）

⑨ AUDIO IN
RCAピンジャック　音声入力コネクタ
音声（ステレオL・R）の入力コネクタです。
※ ケーブルは3m以下のものをご使用ください。

⑩ AUDIO OUT
RCAピンジャック　音声出力コネクタ　モニタアウト用
AUDIO INコネクタから入力した信号をモニタアウトできます。
(本体正面の入力切替スイッチ（DIPスイッチ、トグルスイッチ）の設定に関わらずINに入力
した信号が出力されます。ただし、バッファ出力ですので、ツイストペア送信器の電源が入っ
ていないと出力されません。）
※ ケーブルは3m以下のものをご使用ください。

3．接続

3-1.接続にあたっての注意・警告事項

◆注意

- 本製品には、当社推奨ケーブル（岡野電線：OKTP-E5-P-AWG24×4P）をご使用いただくことをお勧め致します。また、その他のケーブルをご使用する際には、ケーブルの特性に注意し、十分にご理解いただいた上でご使用ください。
- **"1-2. 製品概要"**で記載されている推奨距離を上回りますと、画質の劣化を生じる恐れがあります。推奨距離以上でのご使用は、当社のサポート対象外となりますのでご注意ください。
- ノイズの多い電源ラインのそばにツイストペアケーブルを敷設すると、ノイズの影響により、映像がちらつくことがあります。ツイストペアケーブルを電源ラインから離して敷設してください。
- ノイズの多いAC電源に本体を接続すると、映像がちらつく場合があります。ACコンセント型のノイズフィルタを用いて、正常な電源でご使用ください。
- 本製品のツイストペアコネクタ部分に負荷がかかる場合、付属の固定金具を使用してください。**（"3-3. ケーブル固定金具" を参照してください。）**

◆警告

- ツイストペア送信器のツイストペア延長用コネクタには、対応製品以外、絶対に接続しないでください。ツイストペア送受信器及び接続機器が破損する恐れがあります。またその場合に発生した損害に対して、当社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。
- ツイストペアケーブルを抜き差しする時は、必ずツイストペア送受信器及びツイストペア送受信器に接続されている製品の周辺機器の電源を切ってください。故障の原因となります。

◆配線工事(CAT5e,CAT6)の注意点

a). ケーブルを強く引っ張らないでください。
ツイストペアケーブルの最大引っ張り力は9.3Kgと規定されています。

b). ケーブルはゆるやかに曲げてください。
ケーブルの曲げ半径は約25㎜を最低としてください。

c). ケーブルの結線はきつくしないでください。

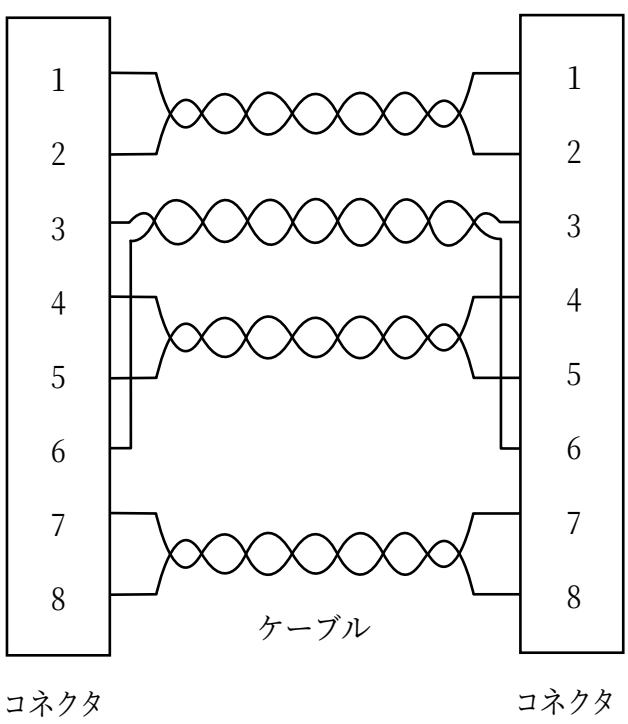
d). ケーブル同士を長距離で並行して敷設しないでください。
ケーブル同士が完全に並行しないよう少しでもバラバラに敷設してください。

e). ノイズ源からはなるべく隔離してください。
電源ケーブル等のノイズ源には近接させないでください。

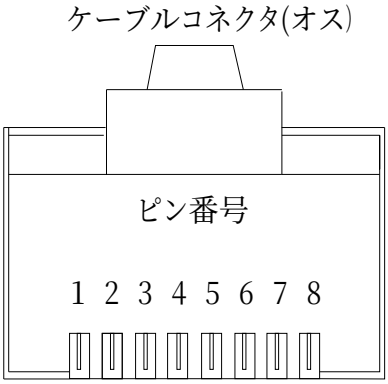
3-2.ケーブルの準備

ツイストペア送信器と同受信器とを接続するケーブルには、CAT5e規格ケーブルあるいはCAT6規格ケーブルを使用し、ストレートに結線します。以下にストレート結線図を示します。

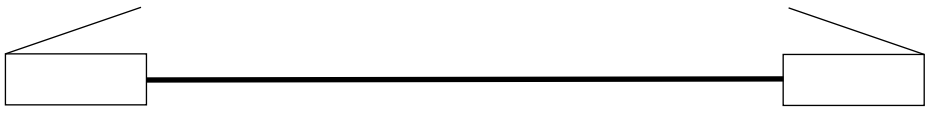
※ 以下のように、ペア線の組み合わせを守って結線してください。ペア線の組み合わせを間違えると画質が劣化するおそれがあります。



1,2…ペア1
3,6…ペア2
4,5…ペア3
7,8…ペア4



一般によく使用される配線（TIA/EIA-568-B）を以下に示します。

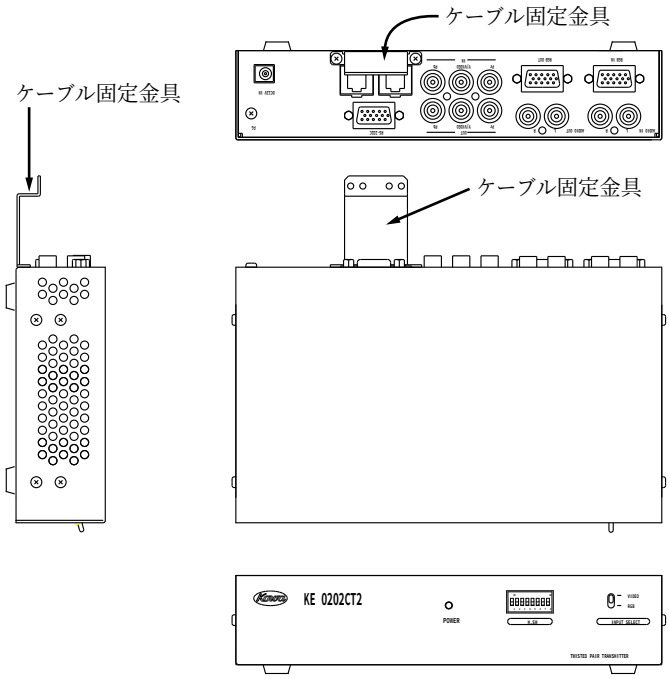


T568B（ストレート）

1番ピン	白(燈)	———	白(燈)	1番ピン
2番ピン	燈	———	燈	2番ピン
3番ピン	白(緑)	———	白(緑)	3番ピン
4番ピン	青	———	青	4番ピン
5番ピン	白(青)	———	白(青)	5番ピン
6番ピン	緑	———	緑	6番ピン
7番ピン	白(茶)	———	白(茶)	7番ピン
8番ピン	茶	———	茶	8番ピン

3-3．ケーブル固定金具

本製品には、ツイストペアケーブルを固定する金具が付属されています。
下図を参考に、取り付けてください。

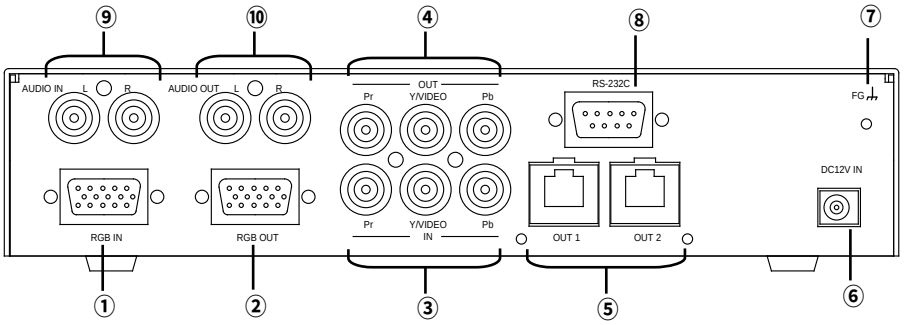


3-4．接続方法

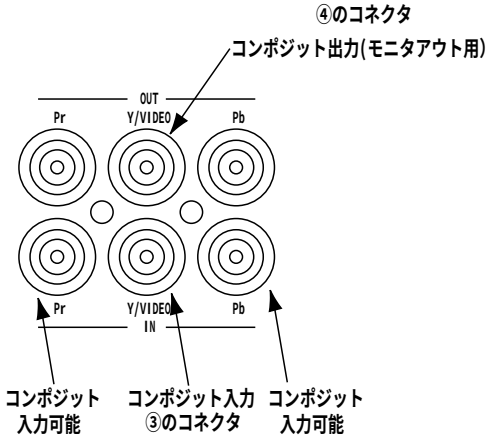
以下の手順に従って、機器の接続を行ってください。

Ⅰ．ツイストペア送受信器及び、接続するすべての機器（PDP、ビデオ・DVDプレーヤ、PC、ディスプレイ等）の電源が切れていることを確認してください。

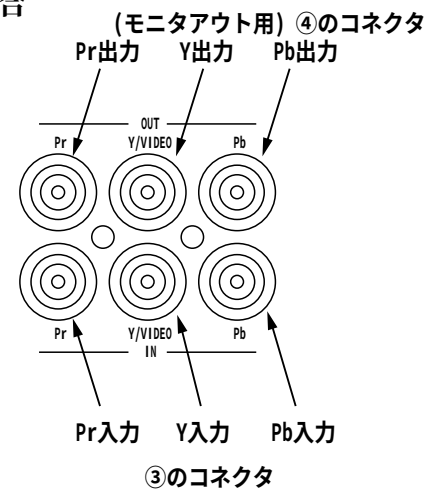
Ⅱ．下図を参考に、ツイストペア送信器に各種ケーブルを接続してください。
ツイストペア送信器と受信器間で電位差が発生することが予想される場合や、多数の機器が収納されているラック等に、ツイストペア送信器を設置する場合、他の機器のFGと共に、送信器のFG端子をコンセントのアース端子に接続してください。
アースをとることが困難である場合は、シールド付ツイストペアケーブルを使用すると、送受信器間の電位差を少なくすることができます。



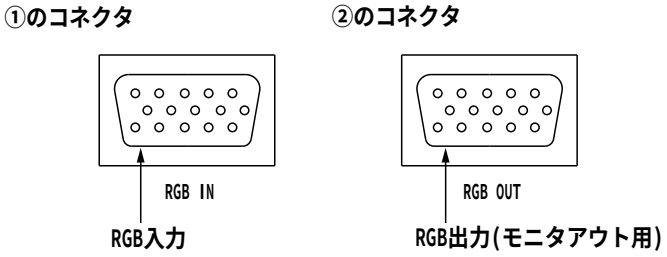
a)．コンポジット信号の場合



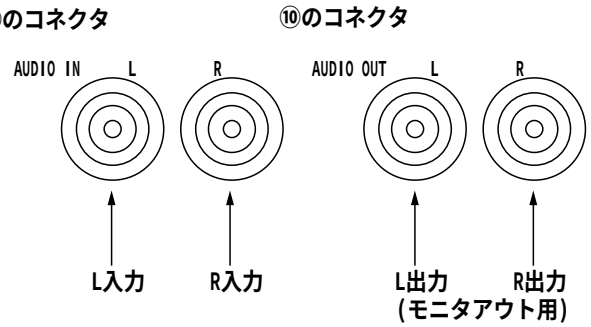
b)．コンポーネント信号の場合



c). RGB信号の場合



d). 音声信号の場合



Ⅲ. ツイストペア受信器への各種ケーブルの接続方法に関しましては、組み合わされる当社受信器の取扱説明書を参照してください。

Ⅳ. ツイストペア送信器と同受信器とはCAT5e規格ケーブル、またはCAT6規格ケーブルにてそれぞれのツイストペア延長用コネクタに接続してください。
("3-2. ケーブルの準備" を参照してください。)

Ⅴ. CAT5e規格ケーブル、またはCAT6規格ケーブルをケーブル固定金具
("3-3. ケーブル固定金具" を参照してください。)を使用し、送信器本体に固定してください。

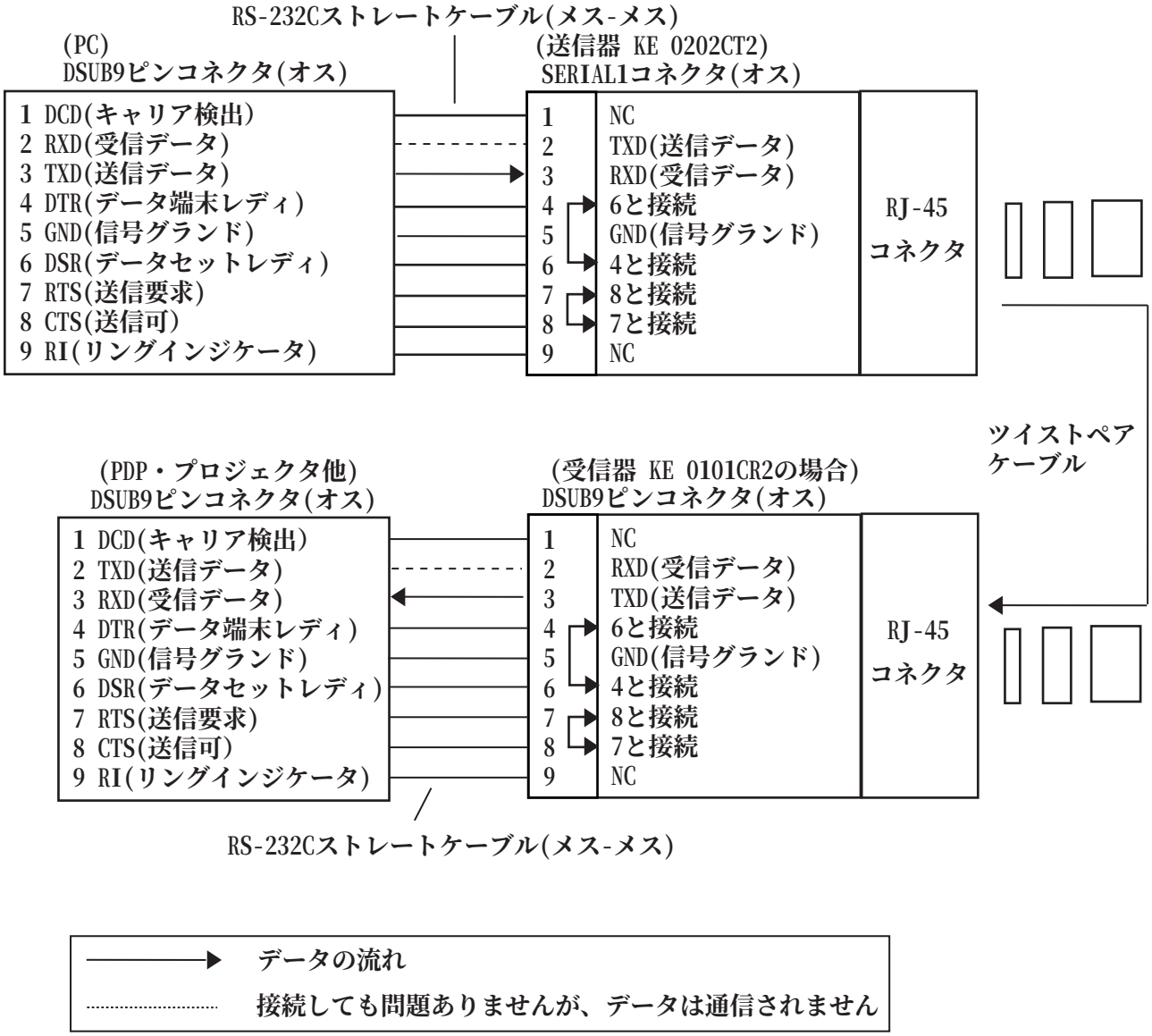
以上で接続は終わりです。

※ 次の順序に従って各機器の電源を入れてください。

＜電源投入順序＞
最初に送信器の電源を入れてください。
その後,受信器の電源を入れてご使用ください。

操作方法、調整方法は**"4. 操作"**を参照してください。

3-5．RS-232C用ケーブル結線



※ 通信時のボーレートは、38400bps以内でお使いください。

4．操作

4-1．底面ディップスイッチの設定

本体の底面には2連ディップスイッチが搭載されています。ここではRGB_IN/OUTコネクタの端子番号4,11をグランドに落としたり、ループスルーにすることができます。設定を行う場合は以下の表を参照して設定してください。

ディップスイッチ番号		高密度DSUB端子番号4,11の設定
1	2	
off	off	ループスルー
on	on	グランド

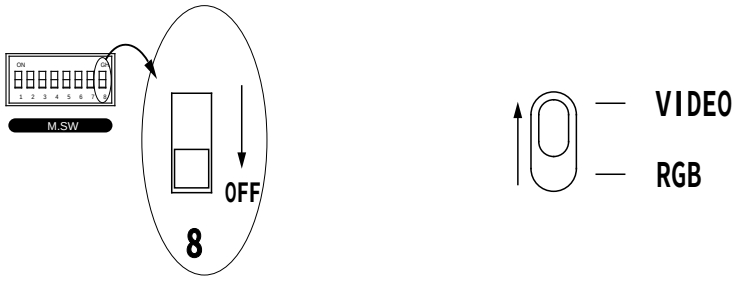
※ 底面のディップスイッチは、工場出荷時は全てOFFに設定さています。
※ 変更を行うときは、本体底面にあるディップスイッチのNo1,2を両方切り替えてください。
※ 通常は設定を‘ループスルー’でお使いください。ただし、一部のモニターでは画面がでないことがあります。その場合は、設定を‘グランド’にしてください。

4-2．入力映像の選択

前面INPUT SELECTスイッチにて、VIDEOまたはRGBから選択することができます。

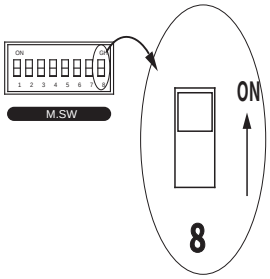
a).コンポジット信号を出力させる場合

INPUT SELECTスイッチはVIDEO側にし、M.SWスイッチのNo.8はOFFにしてください。



※ 受信器側の設定は、各種受信器の取扱説明書を参照してください。

b).コンポーネント信号を出力させる場合
・ツイストペア送信器側
INPUT SELECTスイッチはVIDEO側にし、M.SWスイッチのNo.8はONにしてください。



※ 受信器側の設定は、各種受信器の取扱説明書を参照してください。

c).RGB信号を出力させる場合
・ツイストペア送信器
INPUT SELECTスイッチはRGB側にしてください。
※ M.SWスイッチのNo.8はON/OFFどちらでもかまいません。

※ 受信器側の設定は、各種受信器の取扱説明書を参照してください。

4-3．MODE設定スイッチ

M.SWスイッチで下表のような設定が行えます。

ディップスイッチ番号	設定内容
1	当社受信器KE 101CR-BXをご使用になる場合はONにしてください。 (それ以外の受信器をご使用になる場合はOFFにしてください。)
2	ONにしないでください。
3	ONにしないでください。
4	ONにしないでください。
5	INPUT SELECTスイッチ無効(ON時)
6	RGB(OFF時)とVIDEO(ON時)の切り替えが行えます。 ※M.SWスイッチ No.5がON時のみの設定です。
7	ONにしないでください。
8	コンポジット(OFF時)とコンポーネント(ON時) の切り替えが行えます。 ※INPUT SELECTスイッチがVIDEO側でのみ有効です。

※ M.SWスイッチは、工場出荷時は全てOFFに設定されています。

※ ディップスイッチ1の設定は、2分配CAT5出力の両方に反映されます。

※ 本器からのCAT5出力を分配する場合においても、ディップスイッチ1の設定に対応した受信器を使用してください。（KE 101CR-BXと他の受信器を混在で使用することはできません。）

5．本体の固定

本製品は本体を固定せずにそのまま机上等に設置できる様、ゴム足（４個）をご用意しておりますが、本体固定金具を使用しますと、さまざまな場所に本製品を固定・設置することができます。

※ 本体固定金具をご使用する際には、本体に取り付けてあるゴム足を取り外してください。

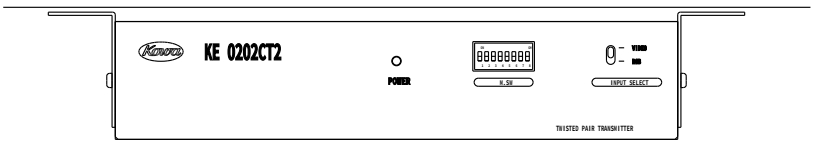
※ 注意　・ 周囲温度が40℃を超えないようにしてください。
・ 通気口を塞がないように設置してください。
・ 本体以外の荷重がかからないようにしてください。

a) 平面への固定
本製品の付属金具を使用して、天井や壁、机の下などに簡単に固定することができます。取り付け例を参考に本体を固定してください。

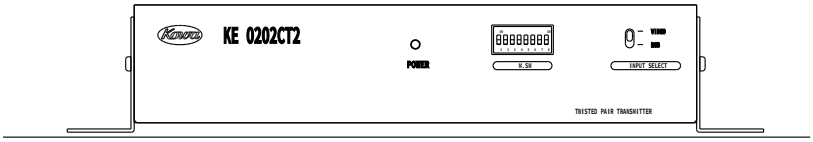
※ 同梱の木ネジ（4本）で固定してください。

取り付け例

① 下面固定



② 上面固定

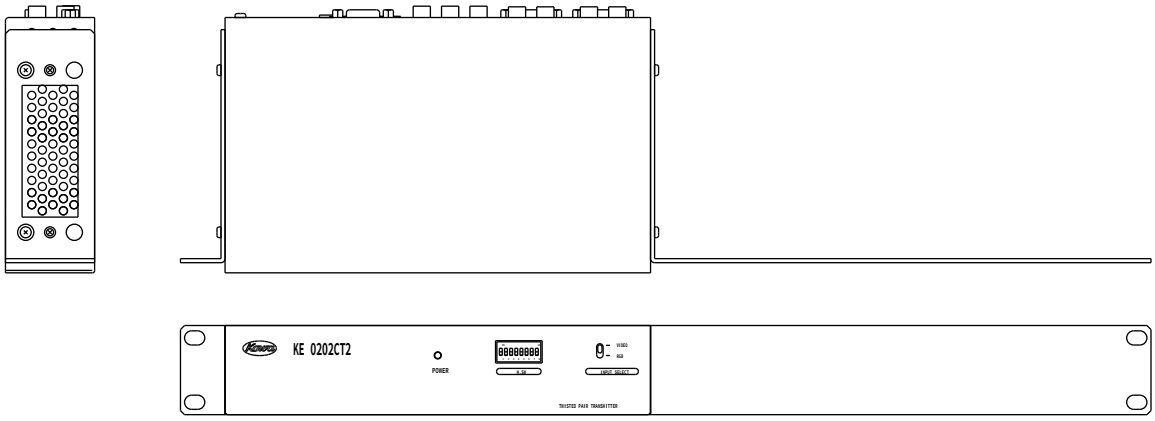


※ ツイストペアケーブルの固定には、付属ケーブル固定金具を使用してください。

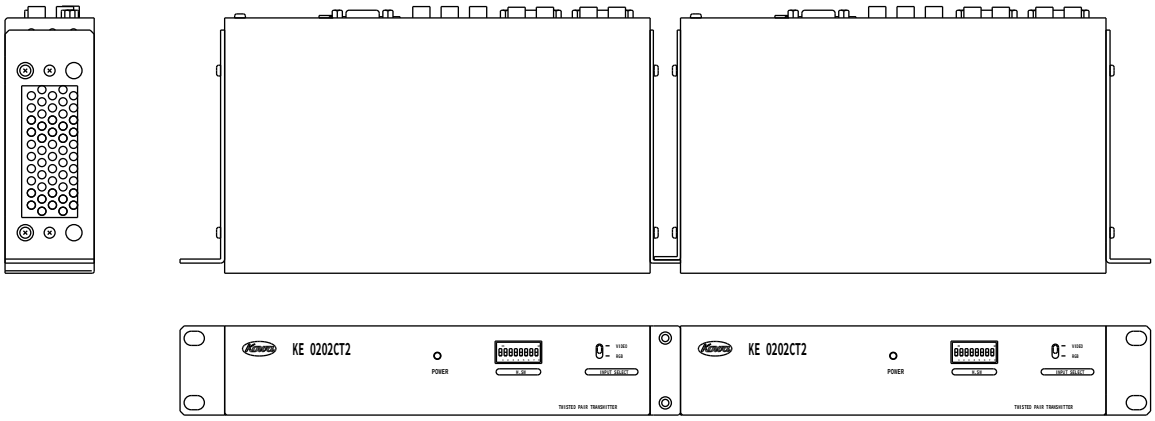
b) ラックへの固定
1U×1ラックマウント金具セット
1U×2ラックマウント金具セット
を使用することによって、本製品をラックに設置することができます。

本品はオプションとなっております。ご注文の際には当社までお問い合わせください。

1連ラックマウント



2連ラックマウント



※ ツイストペアケーブルの固定には、付属ケーブル固定金具を使用してください。

6．主な仕様

型名	KE 0202CT2
入力チャンネル数 出力チャンネル数	映像（RGB、ビデオ）各1系統、音声 1系統、RS-232C(片方向) 1系統 モニタ用出力（RGB、ビデオ、音声） 各1系統、延長用出力 1系統（2分配）
入力コネクタ	D-SUB15ﾋﾟﾝ：RGB、RCAﾋﾟﾝｼﾞｬｯｸ：ビデオ、RCAﾋﾟﾝｼﾞｬｯｸ：音声、 D-SUB9ﾋﾟﾝ：RS-232C
出力コネクタ	D-SUB15ﾋﾟﾝ：RGB、RCAﾋﾟﾝｼﾞｬｯｸ：ビデオ、RCAﾋﾟﾝｼﾞｬｯｸ：音声 RJ-45ｺﾈｸﾀ：延長用出力
延長ｲﾝﾀｰﾌｪｰｽｹｰﾌﾞﾙ	エンハンスドCAT5規格ケーブル、CAT6規格ケーブル
映像入出力信号	アナログY/Y：1V[p-p]（75Ω）、Pb･Pr/Cb･Cr：±0.35V[p-p]（75Ω）、 RGB：0.7V[p-p]（75Ω）、HD,VD：TTL、VBS/VS：1V[p-p]（75Ω）
音声入出力信号	入力：-10dBu 50kΩ 出力：-10dBu 負荷10kΩ以上
使用温度湿度条件	温度：0～40℃ 湿度：20～80%（結露しないこと）
電源電圧	専用電源アダプタDC12V
消費電力	約10W
外形寸法	W210×D126×H44（mm）（ｺﾈｸﾀ等突起物は含まず）
質量	約1kg

7．トラブルシューティング

こんなとき	ここをお調べください	参照項目
PDP、 プロジェクター、 モニタ等の 映像機器に映像 が全く映らない	● 各種映像機器の電源が入っていますか？	各種映像機器の取扱説明書をご参照ください
	● ツイストペア送信器のPOWERランプは点灯していますか？ ACアダプタケーブルはきちんと AC100V コンセントあるいはツイストペア送信器に接続されていますか？	—
	● ケーブルの付近にノイズ源はありませんか？ノイズが多い場合はノイズフィルターを使用する必要があります。	—
	● ツイストペア送信器のOUT1,OUT2 コネクタにケーブルがきちんと接続されていますか？	—
	● ツイストペア送信器のOUT1,OUT2 コネクタに接続されたケーブルに負荷がかかってはいませんか？	→3-3.ケーブル固定金具
	● ツイストペア送信器のRGB INコネクタあるいは（Pr, Y/VIDEO, Pb）INコネクターにケーブルがきちんと接続されていますか？	—
	● ツイストペア送信器のM.SWはきちんと設定されていますか？	→4-3.MODE設定スイッチ
	● ツイストペア送信器のINPUT SELECTはきちんと設定されていますか？	→4-2.入力映像の選択
	● KE 0101CR2をご使用の場合、INコネクタのPOWERランプが点灯 していますか？ACアダプタケーブルはきちんとAC100Vコンセント、あるいはツイストペア受信器に接続されていますか？	—
	● KE 0101CR-BFをご使用の場合、INコネクタのLED（ボリュームに近い側）が点灯していますか？PDP内部スロットにきちんと差込んでいますか？	—
	● ツイストペア受信器のレベル・ピーキングの調整はしましたか？	組み合わされる当社受信器の取扱説明書をご参照ください
	● KE 0101CR2をご使用の場合、DIPスイッチNo.8の設定は正しいですか？	組み合わされる当社受信器の取扱説明書をご参照ください
	● ツイストペア受信器のINコネクタにケーブルがきちんと接続されていますか？	—
	● ツイストペアケーブル長が推奨範囲内ですか？	→1-2.製品概要
	● ツイストペアケーブルの結線は間違っていませんか？	→3-2.ケーブルの準備
	● KE 0101CR-BFをご使用の場合、PDPの入力切替は合っていますか？	PDPの取扱説明書をご参照ください
PDP、 プロジェクター、 モニタ等の 映像機器の映像が 途切れたり、ノイズ がのったりする	● ツイストペアケーブルが電源ラインのそばを通っていませんか？電源ラインから離す必要があります。	—
	● ツイストペア送信器のACアダプタ付近にノイズ源はありませんか？ノイズが多い場合はノイズフィルターを使用する必要があります。	—
	● ツイストペア送信器のOUT1,OUT2コネクタにケーブルがきちんと接続されていますか？	—
	● ツイストペア送信器のOUT1,OUT2コネクタに接続されたケーブルに負荷がかかってはいませんか？	→3-3.ケーブル固定金具
	● ツイストペア送信器のRGB INコネクタあるいは（Pr,Y/VIDEO, Pb）INコネクタにケーブルがきちんと接続されていますか？	—
	● ツイストペア受信器のレベル・ピーキングの調整はしましたか？	組み合わされる当社受信器の取扱説明書をご参照ください
	● ケーブルはきちんとINコネクタに接続されていますか？	—
	● ツイストペア受信器のINコネクタにケーブルがきちんと接続されていますか？	—
	● ツイストペアケーブル長が推奨範囲内ですか？	→1-2.製品概要
	● KE 0101CR-BFをご使用の場合、PDPの映像入力信号（オンスクリーンメニュー）の設定は正しいですか？	PDPの取扱説明書をご参照ください
送信器のモニタアウトからRGB信号の映像が映らない	● ツイストペア送信器のPOWERランプは点灯していますか？ ACアダプタケーブルはきちんとAC100Vコンセント あるいはツイストペア送信器に接続されていますか？	—
	● ツイストペア送信器のACアダプタ付近にノイズ源 はありませんか？	—
	● ツイストペア送信器のRGB INコネクタにケーブルが きちんと接続されていますか？	—

送信器のモニタアウトからコンポジットあるいはコンポーネント信号の映像が映らない	● ツイストペア送信器のPOWERランプは点灯していますか？ACアダプタケーブルはきちんとAC100Vコンセントあるいはツイストペア送信器に接続されていますか？ ● ツイストペア送信器の電源アダプタ付近にノイズ源はありませんか？ノイズフィルターを使用する必要があります。 ● ツイストペア送信器の（Pr,Y/VIDEO,Pb） INコネクタにケーブルがきちんと接続されていますか？ ● ツイストペア送信器の（Pr,Y/VIDEO,Pb） OUTコネクタにケーブルがきちんと接続されていますか？	— — — —
PDP、 プロジェクター、 モニタ等の 映像機器から全く音声が出力されない	● 各種映像機器の電源が入っていますか？ ● ツイストペア送信器のPOWERランプは点灯していますか？ACアダプタケーブルはきちんとAC100Vコンセントあるいはツイストペア送信器に接続されていますか？ ● ツイストペア送信器のACアダプタ付近にノイズ源はありませんか？ノイズフィルターを使用する必要があります。 ● ツイストペア送信器のOUT1.OUT2コネクタにケーブルがきちんと接続されていますか？ ● ツイストペア送信器のOUT1,OUT2コネクタに接続されたケーブルに負荷がかかってはいませんか？ ● ツイストペア送信器のAUDIO INコネクタにケーブルがきちんと接続されていますか？ ● KE 0101CR2をご使用の場合、INコネクタのPOWERランプが点灯していますか？ACアダプタケーブルはきちんとAC100Vコンセント、あるいはツイストペア受信器に接続されていますか？ ● KE 0101CR-BFをご使用の場合、INコネクタのLED（ボリュームに近い側）が点灯していますか？PDP内部スロットにきちんと差込んでいますか？ ● ツイストペア受信器のINにケーブルがきちんと接続されていますか？ ● ツイストペアケーブル長が推奨範囲内ですか？	各種映像機器の取扱説明書をご参照ください — — — — — — — →1-2.製品概要
PDP、 プロジェクター、 モニタ等の 映像機器の音声にノイズがのる	● ツイストペアケーブルが電源ラインのそばを通っていませんか？電源ラインから離す必要があります。 ● ツイストペア送信器のACアダプタ付近にノイズ源はありませんか？ノイズが多い場合はノイズフィルターを使用する必要があります。 ● ツイストペア送信器のOUT1,OUT2コネクタにケーブルがきちんと接続されていますか？ ● ツイストペア送信器のOUT1,OUT2コネクタに接続されたケーブルに負荷がかかってはいませんか？ ● ツイストペア送信器のAUDIO INコネクタにケーブルがきちんと接続されていますか？ ● ツイストペア受信器のAUDIO OUTコネクタにケーブルがきちんと接続されていますか？ ● ツイストペアケーブル長が推奨範囲内ですか？	— — — — — — →1-2.製品概要
送信器のモニタアウトから音声が出力されない	● ツイストペア送信器のPOWERランプは点灯していますか？ACアダプタケーブルはきちんとAC100Vコンセントあるいはツイストペア送信器に接続されていますか？ ● ツイストペア送信器のACアダプタ付近にノイズ源はありませんか？ ● ツイストペア送信器のAUDIO INコネクタにケーブルがきちんと接続されていますか？ ● ツイストペア送信器のAUDIO OUTコネクタにケーブルがきちんと接続されていますか？	— — — —

株式会社　光研

東京営業：〒103-0023　東京都中央区日本橋本町4-11-1　TEL.(03)5651-7091　FAX.(03)5651-7310
大阪営業：〒541-8511　大阪市中央区淡路町2-3-5　TEL.(06)6204-6185　FAX.(06)6204-6188

V4.6/2011.10.4

※ 製品の仕様及び外観は予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。